

天変地異に「くわばらくわばら」

東日本大震災から1年5か月が経過し、今なお、原子力発電所の再稼働や、がれき処理問題で日本中が揺れています。昨年9月には台風12号に伴う集中豪雨が、和歌山県を中心とした紀伊半島のほか、中国・四国地方でも大きな被害をもたらしました。

今年5月初旬に茨城県などで発生した竜巻・落雷被害や、6月中旬にもかかわらず台風4号・5号が相次いで日本を襲った記憶も新しいところに、今度は「これまでに経験したことのないような大雨」が中津市・日田市・竹田市をはじめ、九州北部が甚大な被害を受けました。

昔から恐ろしいことの例えで「地震・雷・火事・親父」と言われてきました。実は、私の伯父は雷が鳴り出すと家に帰って「すぐ、蚊帳を張れ(吊れ)！」と言って蚊帳に入って、「くわばらくわばら」と呪文を唱えていました。しかし、そんな伯父が一番怖かったのは「伯母」だったようです。

また、「くわばらくわばら」については諸説あるようですが、政敵によって京から太宰府に流された菅原道真が、憤死して雷神と化し復讐したといわれています。この時、道真の故郷だった「桑原」だけには雷を落とさなかったことが、起源の1つとされています。

最近の天変地異を考えてみますと、いつ、何が起こってもおかしくないと感じます。それにしても杵築市は、八坂川の氾濫が大きな課題でした。

平成9(1997)年の台風19号で被害額42億8700万円の大被害を受け、当時の平松知事と県議会の英断で、八坂川丸山付近の蛇行部分をショートカットさせることで、早期完成を目指し、平成15(2003)年にほぼ完成しています。

また、城下町商店街の南台側には、谷川が白水池から八坂川に流れていますが、商店街拡幅工事にあわせ、富坂から北台側に分流するためカルバートを設置し、本町まで流路を作り、氾濫をなくすようにしました。

このおかげで、今回の豪雨でも床上浸水などの被害はありませんでしたが、1時間に100ミリを越すような大雨ではと思うと不安です。改善・改修できる場所は早めの対応に心がけてまいります。今はただただ、「くわばらくわばら」です。

受講料に補助も 「防災士養成講座」

杵築市では、いつ起こるか分からない災害に備え、地域レベルでの防災力向上のために必要な知識や技能を有し、地域防災活動の主導的な立場となる人物の養成を目的とした講座を実施します。また、講座の最終日には防災士資格試験が実施され、合格した人には防災士証が交付されます。

実施日・10月27日(土)・28日(日)の2日間

場所・山香庁舎

日程・1日目(9時受付～17時まで)／2日目(9時～16時40分)、その後16時50分～防災士資格試験(1時間)

募集期間・8月1日(水)～8月20日(月)まで

応募方法・受験申請書にご記入のうえ、杵築市役所総務課消防防災係までご提出ください。

※受験申請書は、杵築市ウェブサイトからダウンロードしていただくか、杵築市役所総務課、山香・大田各振興課で配付します。

費用・1万円(ただし、大分県より5千円の補助があります) 参加資格(以下の2つの条件を満たしている人)

- ①杵築市内に住民票のある人
②杵築速見消防組合の実施する救急救命講習を受講済みの人

※救急救命講習は毎月、消防本部(杵築市文化体育館近く)で実施しています。受講される場合は杵築市役所総務課消防防災係までお問い合わせください。

★★防災士資格試験にかかる経費の補助について★★

杵築市では「防災士養成事業補助金」として資格試験にかかる費用:1万円のうち5千円を補助します。(県からの補助:5千円とあわせると、個人負担は無くなります。)

補助の対象となるためには市内に居住し、かつ行政区に自主防災組織が結成されていることが条件です。(結成しているか、不明な場合はお問い合わせください。)

自主防災組織が結成されている場合は自主防災組織の会長の推薦書が必要となります。受験申請書に補助交付申請書・推薦書を添付し、杵築市役所総務課消防防災係まで提出をお願いします。詳しくはお問い合わせください。

杵築速見消防組合職員を募集します

募集予定【①採用予定者数／②受験資格】

●消防職員【①8名程度(うち、救急救命士取得者含む、若干名)②昭和62年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人で、以下の条件を満たす人】

身体条件・視力両眼とも裸眼で0.5以上、または両眼とも裸眼で0.3以上かつ矯正視力が1.0以上であり、聴力・色覚・四肢いずれも正常人。

運転免許・第1種普通免許を取得している人、または採用時まで取得見込みの人。

※採用予定者数は変更になることがあります。成績が基準点に達する人がいない場合は、採用しないことがあります。

教養試験・高等学校卒業程度以上

受験できない人・日本国籍を有しない人、地方公務員法第16条該当者

受付期間・8月13日(月)～9月7日(金)、土・日曜日を除く8時30分～17時まで。

第1次試験(教養試験、体力試験)

日程:10月14日(日) 会場:宗近中学校

※第2次試験以降は、第1次試験合格者のみに通知します。※体力試験は、消防本部で行います。

試験案内・杵築市役所、日出町役場、杵築消防署、日出消防署、山香出張所で入手できます。

問い合わせ・杵築速見消防組合消防本部総務課(☎0978-62-4334)

平成25年4月採用市職員を募集します

募集予定【①採用予定者数／②受験資格】

●一般事務職【①6人程度②昭和60年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人】

●一般事務職(身体障がい者)【①1人②昭和57年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人、身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳の交付を受けている人、自力による通勤ができ、かつ介助者なしに職務の遂行が可能である人、活字印刷文による出題に対応できる人】

●保健師【①1人②昭和60年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人で、すでに保健師の免許を取得または平成25年3月31日までに取得見込みの人】

※採用予定者数は変更になることがあります。成績が基準点に達する人がいない場合は、採用しないことがあります。

※地方公務員法第16条に該当する人は、受験することができません。

受付期間・8月13日(月)～9月7日(金)、土・日曜日を除く8時30分～17時まで。

第1次試験 教養試験、保健師のみ専門試験あり

日程:10月14日(日) 会場:宗近中学校

※第2次試験以降は、第1次試験合格者のみに通知します。募集要領・各庁舎のほか、杵築市ウェブサイトからダウンロードできます。

問い合わせ・総務課(☎0978-62-3131)人事給与係

統合小学校の「校名」を募集します

平成26年4月、田原小学校・朝田小学校の統合に向けて「校名」を募集します。大田地区で、より充実した学校環境を実現するため、旧大田中学校を活用して、田原小学校と朝田小学校を統合します。5月29日に、「大田地区統合小学校開校準備委員会(本田知典委員長ほか、31人)」を設置し、平成26年4月1日の開校に向けて検討を始めました。今回は、統合小学校の「校名」を募集します。応募資格:大田地区に在住する人、在勤(在学)する人、または大田地区出身者。締切:8月31日(金)必着。選考方法:準備委員会(候補を選定した後、教育委員会、議会を経て決定します。発表は広報きつき、市ウェブサイトで行います。応募方法:専用の応募用紙(市ウェブサイトからダウンロードできます)を提出してください。必要事項を記入して、回収箱に投函してください。応募用紙と回収箱は、大田庁舎、田原小学校、朝田小学校、山香庁舎(教育委員会・教育総務課)に置いてあります。※1人1枚までとし、決定した校名の著作権は杵築市教育委員会に帰属するものとし、記入いただいた個人情報、この事業の目的以外には一切使用しません。※郵送、FAX、電子メールで応募する場合は左記までお問い合わせ:〒879-1307 杵築市山香町大字野原1010番地2/杵築市教育委員会 教育総務課(大田地区統合小学校開校準備委員会事務局) ☎0977-752410 / FAX 0977-751314 / 電子メール=kyoiku_soumu@city.kitsukigij.jp